

研究構想シート	学校名	松江市立宍道中学校
	氏名	柄川敦美
A 研究主題 学び合いを通して確かな学力を身につけ、自らの課題を追求することのできる生徒の育成		
B 研究の目的 基礎的な学力の定着と、協同的に自ら学ぼうとする意欲の向上を目指す		
C 子どもの実態 <良い点> ・ 討論には積極的に取り組む傾向にある。 ・ 「わかりたい」「高い点数を取りたい」という意欲がある生徒が多い。 <課題点> ・ 数学に課題がある。 ・ 自分の思いや考えを、言葉にして説明することが苦手な生徒が多い。 ・ 書くことが苦手で、考えを表現する前に諦めてしまう。 ・ 聞くことが苦手で、指示を聞いてスムーズに活動することが難しい。	E 手立て・内容（研究仮説） ◎学び合いを授業で行うことで、確かな学力を身につけ、自らの課題を追求することのできる生徒を育成することができるのではないか。 <具体的には> 協調学習の考え方や、ジグソー法・ICT活用・グループ活動等を、各教科の特性に合わせて取り入れる。	D めざす子どもの姿 ・ 基礎的な学力を身につけている。 ・ 課題に向かって積極的に考えようとしている。 ・ 自分の考えを相手に伝えるために表現しようとしている。 ・ 他者と協同して学びを深めようとしている。
	F 検証方法 ・ 県学力調査の結果（学力・意識調査）を分析する。 * 学力が向上しているか。 * 学習意欲が向上しているか。 * 話し合いに関する意識が向上しているか。 ・ 授業中の生徒の様子を観察する。	
	G 研究計画 <1学期> ・ 手法や実践（協調学習・ICT活用 等）の調査（研究部） ・ 先進校の実践見学（研究部を中心に） ・ 夏休み：研究委員会（研究部による模擬授業） <2学期> ・ 校内授業公開の実施（研究部を中心に *自由参観 小学校にも公開） ・ 協調学習・ICT活用・グループ活動等を各教科で取り入れる ・ 校内授業公開の実施（できれば各学年1つ以上 *自由参観 小学校にも公開） * 目的は授業スタイルの情報提供（学び合いをするために、こんな方法もある） <3学期> ・ 今年度の取り組みの振り返り→次年度の取り組みの検討	